

2. 「第8回 益田市景観賞」作品展

2月1日(土)～2月5日(水)、キヌヤ益田ショッピングセンターで作品展を開催し、多くの市民の皆さんにご来場いただきました。



団体賞

東仙道小学校・益田中学校
益田高等学校・益田養護学校

【中学生部門】応募数：104点

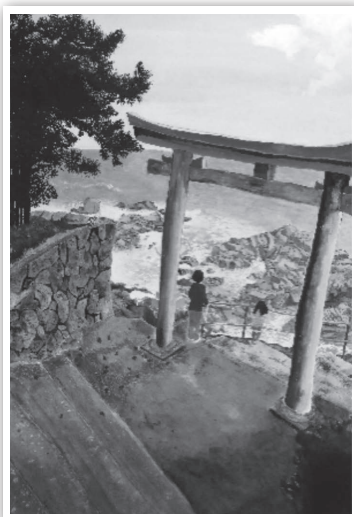
【小学生部門】応募数：131点

グランプリ

『海の上の神社』

松田 青さん

神秘的な雰囲気表現しており、この場所にたたずんでじっくり海を眺めたいと思わせる作品です。



グランプリ

『ホーランエンヤ』

埴畑 稀帆さん

ワクワクと心弾むような祭りの雰囲気も伝わり、観客の心に焼き付くような作品です。



準グランプリ

『高津川』

大畑 鈴乃さん

明日への希望となるような夕焼けの風景を、ダイナミックに素晴らしく仕上げた作品です。



準グランプリ

『ようこそ 柿本神社！』

高浦 夏歩さん

神社と街をつなぐ入口の景観に着目し、力強く描かれ、豊かな雰囲気が伝わってくる作品です。

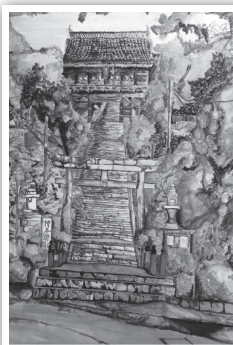


選考委員特別賞

『柿本人麻呂神社の 長い階段』

福岡 新太さん

細部まで細かく描写し、初夏のような爽やかさが感じられる作品です。



選考委員特別賞

『～赤山天満宮～』

海老谷 颯音さん

地元になじみのある神社の季節を感じる景観が描かれ、訪れたくなる作品です。



第8回益田市景観賞

表彰式・作品展 開催報告

1. 「第8回 益田市景観賞」表彰式

景観まちづくり活動部門
応募総数 5 件

グランプリ

『匹見小学校・匹見中学校』



多くの地区民が一体となり、心の原風景ともいえる匹見ブランドを守り育てている点や、まちづくりを力強く進めている点が評価されました。

2月1日(土)、
第8回益田市景観賞の
表彰式を開催しました。

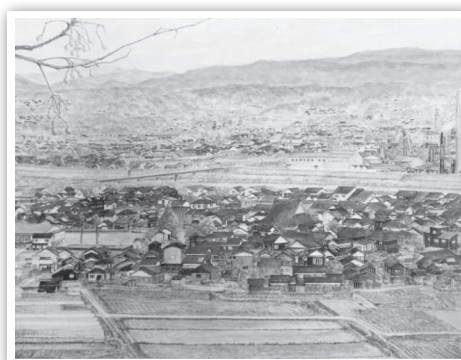


景観絵画コンテスト部門
応募総数 315 点

【一般・高校生部門】 応募数：80 点

グランプリ

『赤瓦の町並み』
田中 智 さん



石見の風景を象徴する赤瓦のまち並みがよく表現され、あらためて赤瓦の魅力を感じさせる作品です。

準グランプリ

『向横田観光開発振興会』



郷土愛と意識の高さ、「この地域を守り、後世に伝えたい」という強い意志が感じられる点が評価されました。

準グランプリ

『桜の名所高角橋』

松ヶ丘病院デイケアにじいろ さん



貼り絵で表現した満開の桜のほのかな色合いにより、優しい益田の風景となっている作品です。

選考委員特別賞

『石見臨空ファクトリーパーク
環境を良くする会』



自ら関心と強い意志を持ち、率先して長い年月、維持管理に努めてきた点が評価されました。

選考委員特別賞

『本俣賀有志の会』



新たな取組や地区の景観整備の広がりがうかがえ、毎年新しい展開を見せている点が評価されました。

選考委員特別賞

『高津川』
T・R さん

高津川に映る、刻々と変化していくオレンジ色の空を版画で表現した、とても味わいある作品です。

